

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	高知工科大学（学部・学科等の課程）					設置者名	高知県公立大学法人			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和4年度）				
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
							実数	個別		
システム工学群		平成21年度	170人	中一種免（数学）	平成23年度	154人	12人	0人	3人	
				高一種免（数学）	平成23年度			5人		
				高一種免（工業）	平成20年度			7人		
理工学群		平成21年度	90人	中一種免（数学）	平成24年度	81人	14人	9人	6人	
				中一種免（理科）	平成22年度			6人		
				高一種免（数学）	平成24年度			8人		
				高一種免（理科）	平成20年度			6人		
				高一種免（工業）	平成20年度			0人		
情報学群		平成21年度	100人	中一種免（数学）	平成23年度	96人	3人	2人	1人	
				高一種免（数学）	平成23年度			2人		
				高一種免（情報）	平成20年度			3人		
経済・マネジメント学群	総合経済・マネジメントコース	平成27年度	130人	中一種免（社会）	平成25年度	152人	15人	7人	5人	
	数理経済・マネジメントコース		30人	高一種免（公民）	平成24年度			12人		
				中一種免（数学）	平成24年度			2人		
				高一種免（数学）	平成24年度			2人		
入学定員合計			520人	合計		483人	44人	71人	15人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和5年4月1日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。 ・平成21年度に工学部（知能システム工学科、電子・光システム工学科、社会システム工学科、物質・環境システム工学科、情報システム工学科）からシステム工学群、環境理工学群、情報学群に改組しています。 ・平成27年度にマネジメント学部から経済・マネジメント学群に改組しています。 ・令和5年に環境理工学群から理工学群に名称変更をしています。									

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている専攻等の概要

大学名	高知工科大学（研究科・専攻等の課程）				設置者名	高知県公立大学法人			
研究科・専攻等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和4年度）			
研究科	専攻等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
工学研究科	基盤工学専攻	平成11年度	150人	中専免（数学）	平成30年度	111人	5人	1人	4人
				中専免（理科）	平成24年度			3人	
				高専免（数学）	平成30年度			1人	
				高専免（理科）	平成24年度			3人	
				高専免（工業）	平成24年度			0人	
				高専免（情報）	平成24年度			0人	
入学定員合計			150人	合計		111人	5人	8人	4人
備考	・「研究科・専攻等の名称等」欄は、令和5年4月1日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各専攻等の実人数、「個別」欄は各専攻等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和5年12月13日（水）実地

実地視察大学：高知工科大学

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教育研究実施組織等については、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○「深い専門知識に加え、豊かな人間性と創造力をもった人材を養成する」という理念・構想が示されているが、それを明確化・具体化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教育研究実施組織をより一層充実させるように今後も努めていただきたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教育研究実施組織

○シラバスの記載内容が教職課程コアカリキュラムを踏まえたものとなっているか、確認する体制を構築できないか検討いただきたい。

3. 教育実習の取組状況

○四国圏内においては指導教員が実習校を訪れ、学生に直接指導に行っていることは確認できたが、四国圏外の地域にも直接指導を行えるような体制について検討いただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○オフィスアワーを通じて学生が担当教員に相談できる体制を整備していることは確認できた。今後、教職課程支援室において模擬授業等を指導できるような体制の構築や、高知県教育委員会から派遣されている現職教員に教職相談できる機会の確保等、教職指導の更なる充実に向けて検討していただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○学校サポーター等を通じて高知県教育委員会と密に連携が取れていることは確認できた。引き続き更なる連携について検討していただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設について全般的に良好に整備されており、学生が勉学に励める環境であることが確認できた。
- 教育の在り方が日々変化している現状を踏まえ、その変化に追従できるよう図書の充実について検討していただきたい。

7. その他特記事項

- 中教審答申（令和4年12月）において、免許状の併有促進が提言されていることを背景に、技術や理科の教科の専門的事項に関する科目の見直しが行われ、大学はこれらの教科の教職課程の開設が比較的しやすくなったこと、また、理系・デジタル人材の育成が一層求められている昨今の状況等も踏まえ、理工系大学として、新たな教職課程の開設も含め、更なる理系教育人材の育成・充実が期待される。